

全国高校
選抜大会

全国高校選抜大会は16日、佐賀市でソフトボール、高知市で相撲の計2競技が行われ、春の高校日本一を懸けた熱戦が本格的に始まった。県勢はソフトボール女子の1回戦で長崎商が山梨学院に3-0で快勝し、2回戦に進出。相撲団体の諫早農も32校による決勝トーナメントに進んだ。

ソフトボール女子の長崎商は三回、浦越と佐々木の安打、相手の失策で2点を先行すると、四回にも2死二塁から浦越が適時二塁打を放った。投げてはエース水本が2安打完封した。

ソフトボール

▽女子1回戦
長崎商 3-0 山梨学院
(山梨)

【ソフトボール女子1回戦、長崎商-山梨学院】4回表長崎商2死二塁、浦越が左越え適時二塁打を放つ
=佐賀市、大和中央公園自由広場



山梨学院に3-0 浦越が貴重な追加点

○：ソフトボール女子の長崎商が4年ぶりに2回戦へ進んだ。好投手を擁する山梨学院から7安打3得点。守ってはエース水本が丁寧で打たせて取り、被安打2で完封した。溝口監督は「上々の滑り出し」と満足そうにうなずいた。

左打ちの1番打者、浦越が初戦突破の立役者となった。先頭打者の三回は中前打で出塁。2死一塁となった後、佐々木の右前打で一気に三塁へ進み、続く平石の遊ゴロが一塁への悪送球を誘う間に先制のホームを踏んだ。四回は2死二塁から「外角の直球を狙って、逆らわずに逆方向へ流した」と左越え適時二塁打で貴重な追加点を挙げた。

2回戦は初めて対戦する笠田(和歌山)。頼れるリードオフマンは「試合前に相手投手の特徴を把握して好きなコースを狙っていく。水本を楽にして勝てるようにしたい」と気を引き締め直した。

(中島崇雄)